

外 科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 外科領域で用いられる主要な検査（主に実習で経験した検査）について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 外科領域における主要疾患（主に実習で経験した疾患）について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR＜問題志向型診療記録＞を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。

マツダ病院

- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前に1週間の手術予定などオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 毎朝の回診の際には回診担当医とともに病棟回診で患者の病状をチェックする。
- 5) 火曜日の外来・病棟カンファレンスでは担当した患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に提示すること。
- 6) 木曜日の術前カンファレンスでは患者情報をまとめ、事前準備して、簡潔に手術術式と治療方針を提示すること。

マツダ病院

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月 水 金	病棟回診 手術見学	指導医	外科病棟 手術室	8:15－8:30 9:00－17:00
火	病棟回診 外来見学 (手術見学) 入院患者カンファレンス 主任部長回診	指導医	外科病棟 外科外来 (手術室) 外科外来 外科病棟	8:15－8:45 9:00－12:00 14:00－14:30 14:30－15:00
木	病棟回診 外来見学 (手術見学) 術前カンファレンス	指導医	外科病棟 外科外来 (手術室) 外科外来	8:15－8:45 9:00－12:00 15:00－16:00

毎朝 8:15－8:30 病棟回診あり。

月水金の手術日においては 9:00－17:00 手術見学・介助。

【評価】

学生の評価は以下を行う。

評 価 項 目	配 点
指導医による学生の行動内容の評価	50 点
回診での患者提示のでき具合	10 点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10 点
学生用カルテの内容	10 点
部長試問	20 点

【実習指導医】

栗栖佳宏、赤木真治、林谷康生、湯浅吉夫